

信州大学医学部附属病院
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当院における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年9月1日

「我が国の GIST 治療におけるイマチニブ使用の実態に関する研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4838
研究課題名	我が国の GIST 治療におけるイマチニブ使用の実態に関する研究
所属(診療科等)	全診療科
研究責任者(職名)	氏名(職名); 小泉知展 (信州がんセンター)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2021年3月31日
研究の意義、目的	消化管間質腫瘍 (Gastrointestinal stromal tumor; 以下 GIST) は稀な疾患のため、その診療実態も不明な点が多いとされ、今回、その中でも治療薬としてイマチニブを使用した患者さんの実態調査を全国規模で把握する目的で本研究が行われます。
対象となる患者さん	2012年1月1日から2018年12月31日の期間に当院で GIST と診断治療された患者さんでイマチニブ治療を受けられた方
利用する診療記録／検体	個人情報を匿名化した、院内がん登録情報と診療群分類(DPC)情報を用いて行います。
他機関への試料・情報の提供方法	国立がん研究センターに、個人情報を伏せた院内がん登録情報と DPC 情報を電子的配送で提出しています。
研究方法	上記期間中に GIST として診断・加療を受けた患者さんが対象になります。個人情報を伏せた院内がん登録情報と DPC 情報から、診療内容の実態調査を把握します。
共同研究機関名	全国のがん診療連携拠点病院が参加して行われます
研究代表者	主任施設の名称: 国立がん研究センター中央病院 研究責任者 西田敏明
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 信州がんセンター長 小泉知展 電話: 0263-37-2554

【既存の診療記録を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

院内がん登録および DPC の情報は、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、毎年主任施設である国立がん研究センター提供済みです。その中から、今回 GIST の患者情報のみを解析します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。